

三年、西鉄ライオンズの三連覇の年に、普通科一九九名、商業科二四六名は希望に胸を膨らませて勇躍卒業しました。以来四十二年経過した平成十一年、遂に六十才となり福原を退えてしまったのです。

奇しくも今年ダイエーホークスが優勝したのも何かの縁でしょうか。

今年に入り小学校、中学校と様々な記念同窓会が企画・案内される中、我々幹事一同では「流石に大濠高校の記念同窓会は一味違うパイ。出席して本心に良かった、次回は是非出席したい」と言われる公に盛り上げようではないかと、一月より再三幹事会を開催しました。

そして六月二十六日(土)午後六時三十分より、我々のホームグラウンドの「大濠」にて開催の運びとなったのです。

当日は生憎の雨模様にも関わらず、恩師の浅田先生、木下先生、同窓会本部より安藤会長、郡田、本村、吉岡の各顧問にもご出席いただきました。悪天候で心配していた出席も定刻にはほぼ全員揃い、五回生の絆の強さを改めて認識した次第です。両先生とも相変わらずお元気で、浅田師、木下師で久しぶりの講義をいただきました。また、当日出席の藤原君のご息子がホークスで活躍中のあの藤原投手であり、藤原君より「更なるご支援を」と挨拶がありました。それぞれ久しぶりの再会に豪華な料理に手をつけるのも忘れ、アツとぶう間の二時間で、当日記念写真として配った別注ホーム入りのマップがなオリジナルスポケットオルがとて好評でした。

最後に全員で校歌を合唱、そして母校・同窓会の益々の発展を願って「博多手一本」で、お聞きとなりました。勿論二次会、三次会も……。末尾となりましたが両先生、同窓会本部の皆様、ご多忙の中のご出席有難うございました。

(第五回卒 村上敦治)



第5回生退席同窓会
平成11年6月26日大濠(博多東中洲)

第八回(商業科)の会

昭和三十六年第八回商業科卒業(六・七・八組)の同期会を、平成十一年三月二十一日(日)博多区「八仙園」にて、ご来賓に担任の木下先生(七組)、山形先生(八組)のお二人をお招きして四十人の参加のもと、卒業三十七年後の同期会を盛会のうちに開催。六組担任の「浜ちゃん」こと浜野先生がご逝去されてお姿が見えず残念。

出席者がもう一歩という感がありましたが、卒業後三回目となるこの会、初めての人も「あんだだれやったかいな」といわれながらも、楽しい出合いのひとときを、過ごすことができました。

次回から毎年会おうという意見や先生の「正希」のお祝いをしよう等の意見が出され結局六十歳の「福寿」の頃、再会することになりました。

最後に八回生で統一地方選挙(福岡市議会議員(博多区))に、二期目の出馬をする六組の鬼塚敏満君の当選を祈って激励しました。同じく八回生普通科の中原貞君(東区)についても応援することといたしました。八回(應生)の皆さん、次回はぜひ多数の参加をお願いします。

代表世話人 白川 徹(八組)

第九回卒業の同窓会

さて、私たち、九回生が大濠高校を卒業してからはや三十数年になります。毎年五月の第三土曜日に開催される卒業生全員の同窓会(定期総会)には、毎年九回卒有志十数名が参加しておりますが、未だ九回生だけの同窓会は自慢ではないのですが、一度も開催されたことはありませんでした。

これではいけないと、有志十数名が発起人となりまして、平成七年八月より、このプランクを理め同級生の同窓会の方向性を見出すため、休日返上で検討しました。しかし、長期間のプランクは大変な事でした。大半の方が住所がわかりません。まず九クラスの中から福岡市近郊在住者十八名をピックアップし、その方々に同窓会世話人となってもらい、はがき、電話攻勢で住所確認を行いました。そして平成九年四月十九日(土)、第九回卒業生の記念すべき第一回同窓会を開催することに決定しました。

会場は博多駅の八仙園でした。遠方からの友を迎えるのに都合がよいからです。三十五年の空白で、参加者が少ないのではないかと懸念しておりましたが、東京、愛知、大阪、南は沖縄、熊本と遠方からの参加者もあり、特にありがたく思いました。そこで、恩師の先生方と同窓会本部の役員の方々を招き、〇〇名の参加のもと初の同窓会が盛大に行われました。

三十五年來の再会におたがいの活躍ぶり、家族、学生時代の思い出、体型(肥満)話など、二次会、三次会と夜を徹して行われたと聞いております。要は、空白があっても大濠高校魂が一致団結を引き起こしたと思っております。「今日も生涯の一日なり」をモットーにその後も毎年同窓会を開催

し、今年には四回日の同窓会を計画しております。世話人の方も毎年忘年会と新年会を行って親睦を深めておりますし、第九回卒業生は皆元気に公私共頑張りしております。

(第九回卒 城川政憲)



第9回卒業 35周年同窓会 平成9年4月19日(土)

第十回生三八会

「ミレニアム」直訳すると「千年間」という意味らしいですね。そのミレニアムのお然りがいつ行われるのが正しいのか、諸説紛々々のようでありますが、英王立のクリニッジ天文台によると、〇一年一月一日が新千年紀の開始らしいです。原因は西暦を作ったローマの修道士で天文学者のエクスグウスが最初の年を「ゼロ」から始めず「西暦一年」としたことにあると、言うのですが、ことの是非はさておき我々が「三八会」のメモリアル?のほうで、ミレニアムよりも重大なことです。にもかかわらず「三八会」の三十五周年記念同窓会の記事を昨年掲載できなかったことを



平成10年11月21日 「三八会」35周年記念同窓会



平成11年12月11日 「三八会」ゴルフの会・忘年会

深く深くお詫言申し上げました。言い訳になります。同窓会より原稿依頼が来た時、締め切りがいつもと同じく年明けの二月とばかり思っていましたら、「大澤人」発行期日の変更で前年の十二月に変更になったのを知らずに（いや、忘れて）締め切りに間に合わなかったのです。すみません。写真（上）はその時のお集まりいただいたメンバーです。池田先生、野田先生、田原先生が元氣なお身体でご出席下さいましたし、本部から吉岡さん、平嶋さん、また、普通科の方々もご出席いただき、和氣あいあいの中、時間のたつのも忘れてしばし交流を深めました。写真（下）は「三八会」ゴルフの会（会長・江頭君）の忘年会（十一月・十二月十一日）の時の写真です。子供・孫同伴での忘年会が楽しく遊べましたのも、会長・江頭君と場所提供と上等の肉を安く食べ放題にして下さいました「焼肉しゃぶしゃぶわかつぎ」の福沢さんのお陰であると感謝致しております。次回「三八会」がもっともっと楽しい会になりますように、祈りながら、やはり二〇〇〇年問題を心配している私であります。このまま何もなく、「あれは杞憂であつたなあ」と笑って「大澤人」を読んでいる自分を想像しています。

（三八会 高原康浩）

⑪ 第十一回生三十五周年同窓会

十一、同生の三十五周年同窓会を平成二十一年十一月十三日（土）セントラルホテル・フクオカにて開催しましたので、ご報告いたします。

五年毎に開催している十、同生の同窓会ですが、今年には厳しい経済情勢ということで、各クラス幹事との話し合いの結果、会費を五千円（記念写真付）にして、より多くの出席者を募ろうという企画にしました。

同窓会室の大内田さんの協力で、住所判明者二百八十七人に送付し、返信率五二％、出席率三二％の六十二名の同窓生が集まってくれました。来賓として安藤会長、本村副会長、相良生徒理事、恩師の本下先生、山形先生、浅田先生のご出席をいただきました。

久しぶりの再会で、それぞれ「おー、おー」「どうしよったとやー」といった感じで、中高年になりつつある五十四才ではありますが、今日ばかりは、みんな若々しく、元氣いっぱいの子供になりきっていました。中には、東京や広島など県外からも駆け付けてくれた仲間もいました。

吉岡さんの司会で始まり、来賓の安藤会長や恩師の方々の楽しいような笑顔いっぱいの挨拶が印象的でした。

乾杯からは、もう、あちこちで大きな声か飛び、談笑が始まりました。そのうち、来賓の方々を挟んで酒宴が盛り上がり、予定時間は、あっという間に過ぎていきました。最後は、制例となった門陣を組みながらの校歌斉唱と、先生の閉会挨拶で終了しましたが、来賓の方々の祝いの言葉で予算が余り、二次会も贈ることになりました。安藤会長や浅田先生にもお付き合い

していたいただき、みんな久しぶりに、おおいに飲み、暇、杯笑った一日となったようです。

最後に、同窓会室の大内田さんには、いろいろお世話になりました。（普通科幹事 藤河次宏）



平成11年11月13日 11同生35周年同窓会

組織委員会より

組織委員会では、同窓会やクラス会の開催促進をらびに、支部発足の支援活動をしております。今年、西暦二〇〇〇年を記念して、ミレニアム同窓会への開催を呼びかけております。特に、三回生は卒業四十周年にあたります。その他にも

八回生（四十周年） 十三回生（三十五周年）
十八回生（三十周年） 二十二回生（二十五周年）
二十八回生（二十周年） 三十三回生（十五周年）
三十八回生（十周年） 四十三回生（五周年）

などの各卒業生が、すばらしい節目の年にあたります。この節目にあたる各回生はもちろん、そのほかの同生の幹事ならびに有志の方々、クラス会でもけっこうです。この記念すべき年に同窓会を開かれることをお願いいたします。そして、一六名の同窓会記録を更新してください。また、昨年は、三回生、五回生、八回生、十一回生の同窓会が盛大に催されております。尚、同窓会を開かれるにあたりまして、名簿資料等は、全面的に協力致しますので、同窓会室までご連絡ください。

連絡先：七、四一、六八八 大内田まで

同窓生はいつもあなたの消息を
気遣っています。

変更通知は必ず 出してください！

住所・氏名・勤務先等の変更について

- 現住所は、町名番地等変更の場合、すぐご連絡ください。
- 読みにくい氏名・地名にはフリガナをつけてください。
- 変更の箇所を朱書などでお示しください、整理上便利です。

同窓会発会準備委員会開催 ～粕屋郡・古賀市～

平成12年2月26日（土）に粕屋郡・古賀市支部の発会準備委員会が開催されました。

新支部設立に向け、今後も準備が進められる予定です。粕屋郡・古賀市在住の会員の方は是非、ご参加下さい。

準備委員会のお問合せは
幹事／太田健策氏まで
(TEL.092-938-2015)

有限会社 一光企画

光安辰次郎 (3回生)

〒813-0023 福岡市東区蒲田3丁目12番24号
TEL・FAX 092-691-1587

株式会社
筑紫ビル管理

代表取締役 佐伯茂洋 (1回生)

〒818-0068 筑紫野市石崎285-1 (筑紫野市消防署隣)
☎092-924-5636 FAX092-925-1145

ネットワーク日本最大の大型電器専門店 ベスト電器
安心のネットワーク 北海道から沖縄まで
店舗数 520余店舗

■国内/510余店舗
■海外/(シンガポール他)19店舗
(2000年1月現在)

福岡大学附属大濠高等学校 第6回卒業

株式会社 ベスト電器

代表取締役社長 北田 稜 光



株式会社 **とろばた**

常務取締役
吉廣 驍 (3回生)

本社 〒810-0071 福岡市中央区那の津4丁目2番28号
TEL.(092)-761-0863/FAX (092)-751-8415

建設機材レンタル&リース
拓新産業株式会社

藤河次宏 矢野昭朝
(11回生) (11回生)
永田 満 前田恒雄
(11回生) (11回生)

〒811-1122 福岡市早良区早良2丁目10番6号
TEL(092)804-1811(代)

水産物 加工食品販売 中国貿易事業

(有)二日市水産

代表取締役 稗田邦雄 (8回生)

酒房 やす 佐電工

大庭宗一 野田雄二
(16回生) (16回生)

福岡市博多区下川端町8-17
電話 (092) 291-7408

佐賀市天神1-4-3
電話 (0952) 23-4142

室見の
三四郎
日本料理

専務取締役 穂吉憲一 (15回生)

福岡市西区愛宕3丁目1の6
電話 (881) 0505

博多の味 **中村屋** ベルリンメガネ

中村俊一 (16回生) 長尾良則 (16回生)
中村光利 (18回生)

福岡市中央区天神3-16-21
電話 (092) 771-3261

福岡市東区箱崎1丁目6-7
電話 (092) 631-0433

大濠高校の発展を
心よりお祈り致します。

川鍋寅政 (17回生)

川鍋 茂 (20回生)

人事・労務・就業規則・賃金規程・労働・社会保険
建設業許可・経費・指名額・会社定款・議事録・契約書

VAN office
713-6064

社会保険労務士 行政書士 **ハン事務所**

(併設)福岡経営者共済会

伴 啓介 (17回生)

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴3丁目8番6号 法務ビル
事務所 (092)713-6064/FAX (092)761-7868

後山興産

後山 繁仁 (17回生)

福岡県福岡市東区箱崎7-9-58
電話 (092) 651-6461

有限会社 幸田ビル

代表取締役 幸田政博 (19回生)

福岡市南区玉川1番25号 幸田ビル106号
TEL. (092) 511-2358/FAX (092) 512-6422

Maimatsubara CO., LTD. since 1973

福岡県知事第(9)3752号

代表取締役
加藤 龍雄 (18回生)

PLANNING 有限会社 **DAK** プランニングオーク

福岡市南区玉川1番25号 幸田ビル104号
TEL. (092) 512-6322

不動産
ビル管理
内装工事
三井海上保険代理店

舞松原不動産株式会社

本社 〒813-0036 福岡市東区若宮3丁目2-36
TEL/092-671-7171 (代) FAX/092-661-2844
天神支店 〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目14-8福岡天神センタービル7F
TEL/092-761-5151 FAX/092-761-0200
ホームページアドレス <http://www1.beam.ne.jp/mainet/>

久保商事株式会社

代表取締役社長 郡山祐明 (20回生)

本社	福岡市東区箱崎埠頭5丁目6番23号	TEL代表	(092) 651-5151番
熊本支店	熊本市出仲間9丁目1番30号	TEL代表	(096) 378-3131番
大分支店	大分市大字宮崎字シテノ下933番地	TEL代表	(097) 568-3737番
佐賀支店	佐賀市駅南本町1-1	TEL代表	(0952) 23-5155番
北九州支店	北九州市小倉北区井堀3丁目16-22	TEL代表	(093) 561-4292番

取扱品目
砂糖・葡萄糖
小麦粉・油脂
雑穀・乾麺
澱粉・食品
水飴

源平の名所

大本山 須磨寺

貫主 小池弘三 (21回生)
電話 078-731-0416番
FAX 078-731-6859番

〒654-0071 神戸市須磨区須磨寺町4丁目6-8

篠栗

南蔵院

ささぐりのねぼとけさん



〒811-2405 福岡県粕屋郡篠栗町大字篠栗1035
TEL. 092-947-7195

住職 林 覚乗 (20回生)



田中産婦人科クリニック

副院長 原田啓之 (24回生)

●診療時間●

平日：9:00~12:30/14:00~18:00 (金曜日のみ19:00まで)
土曜日：9:00~13:00

福岡市南区西長住2-26-39
TEL.092-541-5454/FAX.092-562-4848

梅野小児科・内科 アレルギー科 医院

●受付時間●

平日 8:00~17:00
昼休み 12:30~13:30
土曜日 8:00~12:00
日曜日・祝日休診

梅野英輔 (21回生)

福岡市博多区千代1丁目33番2号/TEL(092)651-3558

大濠会

春日市役所 同窓生一同

鶴友会

福岡市役所支部一同

同窓会ホームページ開設 [ホームページアドレス<http://www.culture-dome.or.jp/ohori/>]



同窓会室では、二年程前コンピュータを本格的に導入しました。卒業生の名簿をデータベース化し、地区別、卒業年度別、クラス別などの検索、一覧を可能にしておりますが、この度同窓会のホームページを開設するに至りました。学校関係、同窓会関係の様々な情報を提供したいと思います。会員の皆様も掲示板やメールを使って、同窓会へのご意見・ご要望や同窓生の消息などの情報をお寄せください。

同窓会年会費

同窓会の大いなる発展のために、よろしくご協力ください。

年会費 1,000円

《納入方法》振替用紙(指定)を用いて最寄りの郵便局でお払込み下さい。

副会長 郡田紀久雄 (財政委員長)

今年は定例総会の会場が変わります!

第四十七回 定例総会(案内)
日時/平成十二年五月二十日(土)
午後六時より

場所 ホテルニューオータニ博多三F
福岡市中央区渡辺通一・二

電話(092)714-1111

会費 五,000円(多数の催物あり)

※会員の皆さん、お誘い合わせの上、

参加下さい。

前売券は、各回幹事が販売中

(当日受付可)

担当理事副会長大野治憲(十三回卒)

編集後記

同窓会誌は、お元気で
すか。二〇〇〇年という
心あたたまる年を迎え、
「活躍のついで」です。
また今号は、卒業式にあ
わせての発行ということ
で、同窓会入会ホヤホヤ
の卒業生諸君、ご卒業お
めでとようございます。今
年の三年生は例年になく
優秀な成績ということで
我々も期待しています。
最後の最後まで頑張っ
て下さい。(わ)

大 塚 人

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号
同窓会事務局/TEL-FAX 092-714-1681

発行人 安藤文六

編集人 平島文憲

<印刷> 福岡綜合印刷株式会社

母校と共に発展を



大濠高等学校
同窓会会長
安藤文六

同窓会会員の皆さん、お元気ですか。同窓会会員も三万余名の大規模所帯となりました。会員数が増えるとともに、世代間の交流が少なくなり、全体的な繋がりが薄くなってきているように感じます。

最近、大濠は元気が無いという声を耳にします。運動クラブが全国大会へ出場する機会が少なくなり、同窓生も、応援で頑張れなくなったためでしょうか。全国大会へ出場するクラブは、以前に比べれば少なくなりましたが、各クラブを見るとよく頑張っています。全国大会へも一歩、というクラブがたくさんあります。

同窓会総会への参加者は、ここ数年間横ばい状態が続いています。たくさんの方が、総会へ参加して欲しいと思います。理事会でも、このことが話題になり、総会の開催日、アトラクション、開催場所などについて検討を重ねております。

支部活動につきましては、いずれの支部も熱心に活動しております。支部によっては家族ぐるみで活動を展開しているところもあります。支部活動の悩みは、参加者数が増えたり減ったりとあると考えます。

近年、少子化社会、情報化社会が叫ばれ、社会構造が急激に変化しています。情報の発達により、社会生活は勿論のこと仕事面でも大きく変化しています。このような状況のもとで、同窓会もまた、時代に即した活動を始めています。従来の会報発行と共にパソコンによるホームページの開設を準備しております。同窓会で行われていること、母校の状況などを素早く会員の皆様へお知らせします。また、会員の消息なども同窓会室へご連絡下さい。会報のバックナンバーも、閲覧出来るようになります。将来的には同窓生が所属する企業案内なども行い、卒業生が就職活動に利用出来るようなネットワークを作っていきたいと思っております。

最後に、同窓会組織の充実を図るために、三回生の光安辰次郎氏と十五回生の高木忠博氏を副会長候補として、平成十一年十一月十七日の理事会にはかり、推薦していただきました。これからは、組織も充実し会員の親睦と母校の発展のために努力してまいります。会員皆様の、今後さらなるお力添えをお願い申し上げます。

二十一世紀・問われる大濠

同窓会の皆様、お久しぶりでございます。お変わりなく、それぞれの分野で活躍のことと存じます。

少子化の嵐吹きすさぶ中、受験生減が心配されてきました。十二年度の専願入試も昨年並みの応募があり、ますますでございます。特に中学校はこの学校も減っておりましたが、大濠は定員八十名に対し、五、〇名という昨年以上の応募者で、競争率も県下及び県外近郊の一貫校の中ではトップの六倍強という難関でございました。

平成八年度中高一貫教育の入学者が、十二年度は高二に進級し、来年は結果を問われることになるわけで、担任並びに教科担当の先生方は休日返上で日夜奮闘なさっていらっしゃいます。高校のスーパードコースも今年も答えを出さなければなりません。勿論、上位層の進学のみが本校の方針ではなく、附属高校として福岡大学志望生徒への受験指導対策の強化、西南学院大学など地元私大への合格率を高める指導を徹底していくことが、大濠全体のレベルアップにつながるのではないかと思います。

今ひとつ、我々教師として常に留意すべきことは、生徒との対話を多く持ち、悩んでいる生徒が居ればその立場に立って耳を傾け、心のケアに取り組み姿勢が大切だということです。知的水準を高めることに終始し、心の教育がないがしろにされるようでは、真の教育が施されたとは申せません。今私ども教師が心すべき問題ではないかと思っております。

私どもは大濠学園再構築のために創設当時の初心にかえり、三万余名名の同窓会の諸兄氏と緊密な連携をとり、相携えて進むことが今後一層大事になることと思っております。その意味でも十二年度より校長として就任されます青木重夫先生は、本校の御卒業でもあられ、また、本校出身の校長誕生が待ち望まれてもいましたことだけに、今回の御就任は誠に慶ばしい限りでございます。同窓会としまして是非、青木先生を支援していただきますよう心からお願い申し上げます。

私の四年の任期中、皆様のお世話にあずかり乍らお役にも立てず、三月末をもって退職することになりました。これまで御指導いただきましたことに、対し、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

最後になりましたが、同窓会の益々の御発展と諸兄氏の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。



名譽会長(校長)
近藤達男

剣道部玉電旗準優勝

激闘の延長戦

七月二十九日、マリメッセ福岡、決勝戦。対戦相手は平成元年と同じ熊本阿蘇高校。元年には、「延長六秒、捕まの剣、九州の剣、劇的な幕切れ」で、大塚が栄冠に輝いた。再び因縁の対決。最大の強敵は全九州大会個人の覇者、阿蘇の大將古沢伸晃選手。そして過去二度決勝戦に出ながら優勝を味わえず、「阿蘇は女子」といわれ続けた「屈辱の阿蘇・男子の本懐」であった。迎える大塚は大將・上原祐二(三年)を中心に副将・内海潤一(三年)・中堅・藤井正司(三年)・次鋒・砂川篤(二年)・先鋒・実淵英明(二年)のメンバー。黒木監督が掲げた今大会の目標は八強入りであった。昨年福岡県勢はベスト8に二校も残れない屈辱を味わったためであったとか。



四回戦(不戦) 埼玉
五回戦(不戦) 横浜
六回戦(不戦) 柏原高校

そして、準々決勝で優勝経験がある佐賀三養基高校とあった。ここで勝利したら目標のベスト8。延長の末、大將上原がメンで決めた。監督は密かに「これはいけるかもしれない」と思った。そして、昨年優勝の九州学院を準決勝で破ると、ついに決勝戦。大將上原は阿蘇の副将をメン二本で逆転し、大將戦では延長三回の激闘の末、一瞬のスキを突かれ、メンを奪われ敗れた。



攻める大將の上原君

十一年度の大塚スポーツ

今年度はやはり、剣道部の玉電旗準優勝が光る。五度目の準優勝である。インターハイ個人にも上原君が出場した。その他個人では、柔道の南君、坂本君、田島君がインターハイに。また駅伝部、陸上部、水泳部も個人でインターハイ出場者を出した。注目は弓道同好会。初の県大会優勝(団体)で全国出場。そしてなんと、ベスト8入りを果たした。バスケ部もインターハイベスト8、ウインターカップの出場は、五年連続二十五回目となる。

さてミレニアムを迎えた今年、チームワークをモットーに、立て直しをはかる硬式野球部、戦力的に充実し、都大路復活が待たれる駅伝部、春高県予選準優勝のバレー部など、一気に爆発の予感がする。同窓会でも力を合わせて応援しましょう。



全国ベスト8の弓道

速報!

テニス部

春の全国選抜大会出場

柳川・九國大付とともに、全国選抜大会に出場が決まりました。十九年ぶり、二層目の出場となります。三月二十二日より四日間、北九州市で行われます。

中高一貫一期生高校へ

平成八年春に開校した大塚中学校であるが、平成十一年春、その一期生七十九名が高校に進学した。元気はつらつの高校一年生である。この春、新二年へ進級する予定の現一年生は、彼らを含め六七八名。平成十四年の春には、初めての中高一貫生の卒業となる生徒たちである。創立五十周年を経て、二十一世紀へあらたな歩みを進める大塚学園の息吹が、今、学校の中に感じられる。今春の中学校入試もさる一月二十二日に行われた。周辺の多くの私立中学校が志願者を減らしているなか、大塚中学は、逆に志願者を増やした。二十一世紀へむけて、大塚という学校が、社会的に大きな期待を担っていることの証明であると思われる。我々同窓生もお一層、その絆を強め、大塚中高校の発展を祈りたいものである。

平成十一年春大学進学実績

最近の国公立大学への実績は年度によって多少の差はあるが、一五〇名から二二〇名の合格者を出している。例年の主な進学先は、九州大二〇、三〇名。九州工大に二〇名前後。その他長崎大・熊本大・山口大・鹿児島大・福教大などにそれぞれ五〜十五名などである。本校の場合、志望する大学が広範囲にわたるのが一つの特徴となっていて、四〇もの国公立大に合格者を出している。九大の合格者は例年より少なく十五名であったが、同レベル以上の京都大・大阪大・筑波大・神戸大・北海道大などを合わせると三十名以上になる。特筆すべきは、東京芸術大への合格者が出た

ことである。

私立は、福大に三五〇、四〇〇名、西南大に七〇、一〇〇名と安定。関西学院大・関西大学・同志社大学・立命館大学には、平成七年に合計で一〇〇名を超え、この年一三八名とその数を伸ばした。関東では早稲田大・慶応大・上智大に合計四〇名程度、明治大・立教大・法政大・中央大・青山学院大などに合計七〇名程度と、その実績を伸ばした。また、医療系には国公立私立あわせて三十七名が合格している。

秋の褒章に卒業生二人が輝く

平成十一年十一月一日に、秋の褒章の授章者が政府より発表されました。県内からは、前年より七人多い三十七人うち女性五人が受賞しました。ひとつの仕事を長年携わり、卓越した技能を持った人に贈られる勲章に、本校卒業生二人が受賞しました。その方は、同窓会長の安藤文六氏(二回生)と清野敬太郎氏(定時制四回生)です。安藤文六氏は、長年の道路建設通商技術で受賞されました。清野敬太郎氏は茶室の壁の骨組みとなる竹で編んだ伝統技法「えつり」の技が光る左官で、見事に受賞されました。清野敬太郎氏は、平成九年十一月にも労働省の「現代の名工」に選ばれています。受賞おめでとうございます。益々の活躍を期待いたします。



安藤文六氏



清野一徹太郎氏

支部だより

(各支部からの報告)



- 関東支部
- 東海支部
- 鶴友会
- 関西支部
- 筑紫支部
- つつじ会
- 福大医学部支部



関東支部

「ミレニアム」で年が暮れ、年が明けました。東京では即位十周年記念行事、天皇誕生日、また、皇居前丸の内では「東京ミレナリオ」が開催されました。これは、十二月二十四日、一月一日の間、約三百五十メートルに渡って光の彫刻「プラトウーラ」によって、千年紀の到来を光の輝きとともに迎ようとする新しい祝祭です。コンピュータの「○○○年問題(Y2K)」も大きな混乱もなく順調なスタートでした。

母校も創立五十周年の節目を乗り越え新たな歩みを進めています。支部も十七周年の歩みから、まず、十周年、さらに五十周年に向けて気持ちを新たにしております。「組織は永遠なり」「キンシャイ待つとるバイ」を合言葉に取り組んでいます。

本年は役員会を三役会(水曜日)役員会(土曜日)とし毎月交互に行います。方針の検討は三役で行い、役員会はより多くの参加を求め、審議・確認を行い、会員に伝達、組織の活性化をと思っています。集まる！連帯の環を拡げることにつなげたいものです。本年の行事としては

- 役員会(三役会) 毎月第三水曜日から土曜日
 - 新年会…一月 新しい年を迎える会
 - 花見会…四月 桜を眺める会
 - 海水浴…八月 大海原で健康になる会
 - 総会…十月二十一日/十八回総会・懇親会
 - 忘年会…十二月十六日(第三土曜日)
- を計画。努めて家族参加の方向で考えてい

ます。

二十世紀・母校の百周年・支部五十周年に向けて飛躍の年、基礎固めを計りつつまいります。同窓会本部・母校・同窓生の皆様、今後ともよろしく、御指導・御協力下さい。おわりに、母校バスケットボール部の全国大会「ウインターカップ」を応援し、大変うれしく、また心強く思いました。「文武両道」を目指して「福大入道」の益々の飛躍発展を願ってやみません。

(支部長 齊藤昭彦)



▲丸の内に光の通路
(東京ミレナリオ)
大災に見舞われた神戸市で5年目を迎えた電飾イベントの東京初進出



東海支部

東海支部は、今年で創設六年目を迎えます。現在の会員数は、十九名。(ちよっと淋しい。)

昨年の十一月二十七日(上)には、第五回総会を開催いたしました。会員十七名が参加、また来賓として母校からは近藤校長、同窓会本部からは、本村副会長、関東支部からは篠崎顧問、関西支部からは重本支部

長に、ご出席いただきました。

総会は隔田支部長の挨拶に始まり、活動報告、会計報告など定番どおり和気あいなの中、厳粛に取り行なわれました。

その後は、お待ちかねの懇親会。近藤校長、本村副会長からは母校の発展ぶり、OJの活躍ぶりなどのお話を頂き、会員・同、目を輝かして聞き入っていました。また、篠崎顧問、重本支部長の支部活動の報告、特に会員獲得のための苦闘話には、同じ悩みを持っている当支部としても、共感の思い、また、貴重な体験談として、深く心に受け止めて頂きました。

会員、来賓の皆さん方にカンパして頂いた豪華景品の抽選会(ビンゴゲーム)では、当選者が出るたびに歓声が上がりが大いに盛り上がりました。

最後は、お決まりの校歌斉唱。全員が学生時代に返って力いっぱい歌う姿は、まさに感動もので胸がジーンとくる思いでした。二次会は、会員御用達のスナック「ブチ華」でワイワイガヤガヤ。座りきれないため、立ち席ができるほど。近藤校長をトップに全員が日頃鍛えしノドを披露。宴は、深夜まで延々と続きました。

相変わらず暗い話が多い世の中、大塚の仲間が集まって元気を出し合った一夜は、明日の活力につながる、大変有意義なものでした。

ところで東海支部では、十二年一月二日付けで支部役員の変更をおこなったので、お知らせいたします。

隔田博支部長(一回生)顧問に就任。
藤崎徳副支部長(三回生)支部長に就任。

藤崎新支部長のもと頑張ってまいりますので、全国の大塚の日の皆さんご支援のほどよろしくお願いいたします。

※「フチ華」

0521-6561-0825

毎月、第三木曜日、午後七時から会員が集まっております。いろいろな話題を「さかな」に楽しい時間を過ごしております。



平成11年11月27日総会で挨拶される近藤校長



鶴友会

(福岡市役所支部)

鶴友会(福岡市役所支部)の平成十一年度総会は、昨年十月二十九日、中央区天神の平和楼本店において七十名の出席を得て盛大に開催されました。

総会第一部で、新たに武田隆氏(十五回卒)を常任幹事に選出、新役員体制を確立してスタートしました。

また決算、予算等の重要な議案も全会一致の賛成で可決され、総会第一部は無事終

了しました。

第二部の懇親会では本村泰之会長(八回卒)による新たな決意のもとに鶴友会を発展させていこうとの挨拶のあと、懇親会は開会されました。

また来賓として、学校関係、同窓会本部、福岡市議会よりそれぞれ挨拶を受けました。懇親会は酒を酌み交しながら和気あいあいの中で行なわれ、恩師や旧友との再会もあり、学校時代の思い出話は尽きず、時間も忘れてしまうほどでした。

最後は来賓の方々も含め全員で校歌を合唱し、母校及び同窓会の益々の発展を祈念し万才三唱で締めくくり、盛会のうちに閉会しました。

今後とも鶴友会は地元支部としての自覚のもとに全会員協力して活動していきたいと思っております。

(鶴友会幹事長 第八回卒 諸岡敏二)



関西支部

我が関西支部は、本年創設二十周年という輝かしい年を迎え、今日まで関西支部を支えて下さいました諸先輩方や会員各位に対し御礼を申し上げますと共に、重本支部長はじめ幹事一同「心を一つ」にし、同窓会活動をより一層活性化させるべく知恵を絞っているところです。昨年の主な活動を振り返りますと、二月六日に吉田氏(十回卒)と角田氏(十三回卒)のお世話により、

久し振りに神戸の地にて新年会を開催しました。四月四日には、池田五月山で恒例のお花見会を開催する予定でしたが、あいにく会員の参加が二、三名という事で止む無く中止の決定をせざるを得なくなりました。「継続は力なり」の精神で幹事各位は頑張っているものの、同窓会活動の難しさの一端を垣間見た様な気がし、少々無念さが残りました。しかし、時はじっとしてはくれません。後藤副支部長を中心に七月の支部総会に向け、事前打合せのみの幹事会の開催、総会資料作成や参加確認発送手続の打合せ、幹事有志による総会資料発送準備と慌ただしく過ごしているうちに第十九回関西支部の総会を迎える事となりました。大阪駅近くの弥生会館にて近藤校長、本部より安藤会長はじめ、多くのご来賓の方々のご出席を賜わり、盛会のうちに無事総会を終える事が出来ました。そして昨年

から真夏の行事として八月二十一日にビアパーティーを開催し、飲み放題で大いに盛り上がりました。また、秋には箕面公園にでもみじ狩り、十二月四日には忘年会を行いました。来るべき二〇〇〇年に思いをめぐらせ、関西支部創設二十周年を盛大に迎えるべく出席者一同が楽しく記念になる様な有意義な総会にしようと思っております。二十才といえど立派な成人として自立し、責任ある行動が求められる新たな出発点と言われています。我が関西支部も母校大塚高等学校の益々の発展を願い、諸先輩方、会員各位の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(関西支部 第十三回卒 外水広志)





筑紫支部

私の見た国・北朝鮮

月日が立つのは早いもので、私が中国とのビジネスに取り組んで九年目になりました。私が生まれた国、中国。当初知人の勧めで半信半疑で大陸に渡り、ビジネスを続けてきました。当時は天安門事件から二年前で、厳しい規制の中、ほとんど失敗に近い経験の連続でした。途中、幾度も事業継続を断念しようかとも思いましたが、ここで手を引けば何もかもゼロになる。周りから「やはり失敗したか」とも思われなくな

ったし、私にも大塚中、大塚高、福大と大塚魂がありましたから、男の意地で今日まで頑張ってきました。当時のことは、後日あらためて紹介することにして、今回は私がこのビジネスの一環として昨年十月、中国のスタッフと一緒に北朝鮮を訪れたときの体験を書くことにします。

一九九九年十月二十一日から二十三日まで、中国北方の吉林省延吉から車で三時間かけて国境の琿春(ぐんしゅん)まで行き、そこから野や山を越えて目的地の罗津(らじゅん)までまた三時間。当地の水産物工場を視察し、ビジネスとして取り組むことができるか、できないかを確認するのが、今回の入国の目的でした。もちろんビザをもらったのは、中国政府からです！そして北朝鮮入国の印象は、私たちが日頃ニュースなどで見たそのままの姿でした。

人も土地も瘦せて、日本との違いに目を

疑うことばかりでした。当地は十月でもかなり寒い季節なのに素足の子供たちも多く、町には店もたった一軒。しかし買い物をする人はわずか数人でした。交通機関といつても、バス、タクシーは無く、自転車は僅か。徒歩が人々の唯一の交通手段と言えるでしょう。とにかく想像を越えた体験になりました。

私たちは入国の際に、車一台にたくさん食料を持ち込んでいました。食料事情が悪いことは事前にはわかっていたので、中国からあらかじめ携えて行ったのです。検問の際に多少、係員に分けてあげると言われ、私が日本人だということ親切にしてくれました。

ある朝、ホテルでスタッフが食事をしている時のことです。私はホテルの玄関で周回を見ていると、いつの間にか十人か十二人ぐらいの子供たちが集まってきました。私に何か話しかけてきました。通訳を介して尋ねてみると、手を差し出したので、食べ物が見たいのだと直感しました。私は自動車の荷台に行き、積んでいた食料を指さすと頭を下げたので、私はスタッフの食料を全部、配ろうとしました。すると、そこへ中国人のスタッフがやってきて、少し怒ったような表情で私に何か言ったので、ついその時、自然に博多弁が出て、「いつでもみんなは中国に帰れば食べることができるじゃないか。」と叱り、配り続けました。すると中国人のスタッフも私の言ったことが理解できたのでしよう、そのまま黙って私を手伝ってくれました。食料をもらって帰る時、私に頭を下げる子供。手を振る子供。

私自身も気持ちが悪ければとした思いでした。

今でもあの時のことを振り返って思うことは、この平和な日本では考えられないこんな国が現実にあるということを皆さんに知ってもらいたい、ということなのです。

(筑紫支部長 第八回卒 神田那雄)



つつじ会

平成十一年九月十一日(土)、大塚つつじ会の総会が、久留米グリーンホテルにおいて開催されました。母校からは、近藤校長先生はじめ多数の先生方が参加されました。今は、学校を退職されている恩師の浅田先生も駆けつけて下さいました。同窓会からは、安藤会長はじめ副会長が参加しました。大塚つつじ会は、今年が結成十周年の記念すべき総会でした。総会では、平成十年度の活動報告、決算報告及び、監査報告や平成十一年度の予算案、活動計画案が審議されました。その後、恒例になっているジャンケンゲームで、会場は盛り上がりしました。

大塚つつじ会は、久留米市、小都市、佐賀県三養基郡在住の会員を中心として結成されています。近くにお住まいの会員のみならず、大塚つつじ会に、是非ご参加下さい。(つつじ会 第九回卒 竹岡宗磨)



福大医学部支部

我々の支部も福大のなかでは数少ない大塚同窓会になってしまいました。しかし、学部の特長性の為か、何とか存続しています。担当学年が、しつかりしてくるので、大体に、コンスタントに会合は有っています。現在では百人近い同窓生が居る集団になり、仲間から、国立大学医学部の教授を輩出しました。去年初めての福大卒の内科教授も誕生しました。これに続く人材の中には校出身者が出てくることを夢見ています。しかし、市内のどこぞやの高校グループの様に大学生になってからも、高校生気分から脱皮出来ずに、そのノスタルジアに酔い易い風が、昔から有る様に思うのです。旧制高等学校卒の人達のあの盛り上がりを見ていると、日本の歴史の流れで考えると、近代化を動かすためには、効果的な、歴史的に必要なあった雰囲気だったのかも



第10回 大塚つつじ会総会
つつじ会総会 平成11年9月11日

しれません。なぜなら江戸時代から明治時代に掛けて近代化を推し進めるに当たり「薩長上肥」に始まり、「七帝国大学」「第一高等学校」「第七高等学校」など、必ず一つの集団を作って、言い替えると必ず「群れを作る」という事で、ある程度の問題は、今迄は解決できてきたと思うのです。しかし、この事が残した「負の習慣」とでも言いますか、良く海外で言われる「日本人は、すぐ群れたがる」と言う批判の原因の源はこんな所にあるのかも知れません。感傷的、回顧的雰囲気は日本に残存する歴史的幼児性の一つではないかと小生は考えるのです。この「根」の様なものは、未だ「醒めた成熟した自立思考」をできないでいる今の日本の原因と何か重なってしまっています。今の所我々は学内では新入生歓迎会と卒業送別会だけをしています。今のところ我々支部の皆は大体において、福岡大学人としての意識を主体にして、しっかりと、自立した思考回路が、仲間の頭脳の中でゆっくりと成熟して行っている印象が感じられ、小生の誇りに思う事の一つです。どこぞやの回顧的な高校生気分、言い替えるならば「生徒」的思考から、「学生」的思考に抜け出せないでいるお坊っちゃん、お嬢ちゃん的思考行動が無い事は、実に良い事だと思っています。医学部支部として大塚同窓会の中で「何が出来るのか」、「何をすべきなのか」、「大学の中で高校同窓の意味はなんなのか、何が出来るのか」、を深く考える時期に来ているのではないかと思えます。

(第十五回卒 高木忠博)

卒業生回顧録

関西支部 岡田 博(第一回生)

一、大塚との出会い

大塚中学、大塚高校といずれも第一回卒業で、卒業後も、関西支部や東海支部と長くかわつてますが、そもそも大塚との出会いは私にとって単純なもので、勉強が好きで大塚へという訳ではありませんでした。

昭和二十二年に新制中学となり、昭和二十三年の入学は新制中学制度の二回生になりました。どこも、仮校舎で大塚中学校の校舎も、地元の中学校も似足り寄つたりでした。

私の大塚中学入学のきっかけは、小学校四年生(終戦の年)の五月に三宅小学校に転校したのですが、三日目の学校の帰りにケンカしたことが(今で言えはいじめだったのか)、いつまでも癒りが残り、大塚中学が出来るという事で飛びつき、男児でただ一人私学へ進学することにしました。地元のPTA会長や先生方も地元の中学校へ行きなさいと、説得のために来られました。三宅中学に行く位なら働く。」とか言つて夕夕をこね、頑固に大塚を目指したお蔭で、母から、「それなら毎日、薬院から電車に乗らず歩くという誓約書を書け。」と言われての入学でした。ですから、中学時代は薬院から歩いて通学しました。入学願書も自分で取りに行き、試験の日も一人、他校の子供が先生に、出来映えを報告しているのを横で見て寂しい気持ちを持ったものです。しかし、それ程まで入学した大塚中学でしたが、勉強が目的の入学

ではなかったため、特に一年の時は余り勉強しませんでした。

二、同窓会関西支部の設立

①一回の関西支部設立の失敗

大塚高校卒業後関西大学を卒業、そのまま大阪にて就職、仕事に無我夢中で、大塚のことは全く忘れていました。ところが、昭和三十一年、大塚高校が全国高校駅伝に出場すると聞き、全く信じられませんが、新聞社に電話して選手の宿泊場所を尋ねると阿倍野の英華園の旅館とのこと。ミカン箱を持って訪ね、大塚先生に初めて逢いました。何しろ、初出場、初優勝で、金岡公園、ドンズルボウの急坂で藤田を応援しました。そこで何人かの校友にも逢い、同窓会を作ろうと提案、僅か二十人くらい住所が分つたと思います

が、一生懸命電話で連絡を取り、大阪の南区の活兵衛という料理屋で、第一回の同窓会をしたのですが、五、六人しか集まらず、料理屋ではしかられ、さんざんな目にあいました。今、思うと三十才前で若かつたこと、皆んな故郷を離れ、仕事に夢中で同窓会は無理だったのでしょう。兎事な失敗に終わりました。

以来、十年近く、博多にも行かず、高校がどうなっているか全く知らず、中学校がなくなつたことも、高校の商学科がなくなつていくことも知りませんでした。

②二回目の関西支部の設立

高校野球で初めて甲子園出場を果たした昭

和五十六年、嬉しくて、甲子園にかけつけました。入場前、スタンドで色々な校友と出逢いました。その時、やはり第一回卒業で親友だった藤野誠君がいて、同窓会を作ろうという事になりました。何回かの打合せで、現在の同窓会が誕生したと思えますが、藤野君と兩里君(七回生)等の活躍で総会開催に至りました。第一回の失敗話から、私が初代の関西支部長になつたと思えます。以来、一回生藤野君、七回生重本君と引継ぎ現在に至っています。私の提案で、二ヶ月に一回でも「大塚サロン会」として、集合をかけることも、自然に集まる場所と時を決めてはどうかと提案して出来たのが、今でも、偶数月の第一土曜日に実施中のホテルコンソルトのスナックでの大塚サロン会です。これは良かったと思つています。総会の時に初めましてではなく、仕事と関係なく故郷や、大塚を語り合える場所として成功だったと思えます。

三、同窓会東海支部の設立

私ごとで恐縮ですが、日産プリンス大阪の専務をしていた平成六年、日産プリンス名古屋が合併して行く行かないので、社長として再建して欲しいと言われて、初めての地、名古屋に移転しました。

その移転にあたり、挨拶状を、以前甲子園の野球応援で名刺を交わした名古屋在住の四回生の南郷君にも出しておいた所、何ヶ月かたつた時、突然電話があり、今日、福岡県人会があるので来て下さいと言われ、行くと、三回生の藤崎君も来ていて、一回生の先輩と共に、同窓会を作ろうという話になりました。皆で一生懸命連絡を取り合い、平成七年十一月、やっと東海支部の総会にこぎつけました。

関西支部と同様、大澤サロン会を作れということ、毎月第三木曜日の夜、「フチ華」に集まることにしました。今は少ない人数ですが、これから発展出来ればと思っています。尚、私も業務の都合での欠席が多いため、今年、藤崎君へ支部長を譲ることになりました。思えば、関西支部と、東海支部の、二つの初代支部長経験者はいないと思います。誇れることかな？

四、娘の結婚と大澤

名古屋へ転動にあたり、家族全員で、移住して来ていましたので娘の結婚はどうなるかと心配していましたが、ある時、「お父さんビックリしないでよー」というので、「何が？」と言ったと、「今日逢った人、博多の人だった！それもネー、大澤の卒業よ！名古屋でマサカネー。ビックリよー！お父さんが一回生で、同窓会とか言って、時々飲んで帰るよ」と言うのと相手もビックリよー！これがきっかけで、悪気投合したのかどうか分かりませんが、後輩、波多江徹君（三十五回）と昨年、博多の全日空ホテルで結婚式を挙げる事が出来ました。

五、人生の出合いは不思議

中学校との出合いから、名古屋での娘の偶然の我が後輩への出合いと、中学校入学以来五十年以上を経過した今でも、依然大澤との付き合いが続いています。大澤高校へは、関西大学四回生の時に井口校長を訪ねて以来、一度も訪ねたことがありませんが、退任したら、是非訪ねてみたいと思っています。その時は、長く違わない同窓生にも会えるかな？楽しみにしています。

組織の充実を目指して

同窓会の組織も年ごとに大きくなり、現在では、三万人を越す大組織となりました。このように大きく成長した組織に新しい方を役員に迎えて、より活動を充実していきたいと思えます。三回生の光安辰次郎氏と十五回生の高木忠博氏です。平成十一年十一月十七日の理事会で副会長として推薦を得ました。両氏の横顔をこ紹介いたします。

光安 辰次郎 (第3回生)

●住 所/福岡市東区洞田3丁目12-24
●電話番号/092-691-1587
●職 業/自営業 有限会社・一光企画
●3年生時の担任の先生/中野田 栄吉先生
●趣 味
スポーツすること・カラオケを唱うこと・お笑い

●招 負
「健康で一日一日を大切に有意義に過ごせる努力、これまでのボランティアへの夢を生きかし、本校で免状に少しでも役に立てるお手伝いが出来れば満足、また子供達の社会への手助けに努めたい。」



高木忠博 (第15回生)

●住 所/福岡市早良区券生1-4-8
●電話番号/092-844-1211
●職 業/医師
●3年生時の担任の先生/大城先生
●趣 味
趣味といえることはありませんが、好奇心は強い様です。

●招 負
母校も我々の在学時代とは大きく変化していますので中学～高等学校の目的が社会の中で開かれると思います。第一級の教育機関に母校が成長する為の何か力になればと思っています。



アイツラも来とったバイ!

平成十一年各同窓会の報告

第三回生 卒業後四十三年振りの同窓会

春、三月。卒業したのは四十三年前(昭和三十一年卒)。思い思いに進学、就職、自立と個々の人生を歩き始めて果立って行った大澤高。いい子、中ぐらいの子、わるい子、先生方にあつては大変であつたであろう。その教えを今どう生かし、どんな人間となつているのか、会うのが楽しみでもあり、また怒ろしくも感ずる。そんな気持ちではないだろうか。四十数年の経過の中で社会人として学び、鍛えられ「まじめな人」はコッソコと茶き上げ、フロンテア精神で成功した人も失敗した人も、でも人生は今から勝負、その人の生きざまも磨きかた次第、そんなときフト思い出されるのが同窓生の安否、風の便りに。

同窓会会長の一語：『輩の三回生』 福生

何と響きのある一言であつたらうか、思つても見なかつた高校の同窓会、三回生から副会長候補を推薦してほしいと再三お話があり、えっ、てな感じで何とか作り返らなければと数人が数回寄つて話し合つた中で、まず学年同窓会・総会をすべきではないかということになり、準備委員会(各クラスから二名、計八名)を設置、開会へ向けて作業を始めました。ついで規約をつくり、定例化し、継続できる会であることを目的に素案を作成、始めるまでは心配のしつばなしであつたが、会えはなつかしきで早く解け合ひ、和やかな中で会の名前が承認され「輩の三回生」が生まれ、毎年二月第二土曜日に定例化することができました。一九

九八年第一回目は二十数名、翌年は四十名近くが集まり、二〇〇〇年は第三回、しかも四十五年目の節目という記念すべき年であり、イベントがいっぱい楽しみである。案内状の印刷、返信ハガキ代、住所・氏名の宛名シールは本部から送られるし、貼るだけの作業で済み、本当に助かりました。まじめな方の会費のお蔭です。仲間よ、これからも続々、ぞくぞくと学年同窓会が開かれるよう、また支部総会懇親会の声が開けるよう願つています。あなた自身が企画人となつて、同窓会、グループ造りをされることを念じています。

(光安辰次郎)



「輩の3回生」第1回同窓会

第五回生 「KANREKI」記念同窓会

とどうとう来てしまった。昭和三十年、トヨタクラウン発表の年に大澤公園の満開の桜に迎えられて入学した我々は昭和三十